

海面変動と遺跡・文明



東京大学海洋研にて講演中の新嵩

東京大学海洋研究所共同利用シンポジウム

海面変動と遺跡・文明

開催日：1999(平成11)年11月24日(水)～25日(木)

開催場所：東京大学海洋研究所(東京都中野区南台1-15-1)。

東京大学海洋研究所は、新宿駅西口より京王バス⑧永福町、⑨中野車庫、佼正会聖堂前行にて弥生町3丁目下車。進行方向2番目の信号左。

コンピーナー：木村政昭(琉球大学理学部)・石井輝秋(東京大学海洋研究所)

連絡先：木村政昭；琉球大学理学部、電話&Fax 098-895-8566。

E-mail: kimura@sci.u-ryukyu.ac.jp

石井輝秋；東京大学海洋研究所、電話 03-5351-6447、Fax: 03-5351-

6445、E-mail: ishii@ori.u-tokyo.ac.jp

【趣旨】

近年、南西諸島の海底で、海底鍾乳洞をはじめとして遺跡あるいはその可能性が指摘される海底地形の発見が相次いでいます。本シンポジウムにおいては、それらを起点として、広く内外の海底を含めた海洋環境と人間とのかかわりについて、専門の枠をこえて忌憚のない意見交換をすることを目的としました。それらは、米河性海面変動および地殻変動等変動の議論に関する解像度をアップし、海岸線の変化等海洋環境変動と人間生活への影響まで踏み込んだ問題に方向性を示してくれることを期待しております。

プログラム

第1日目

11月24日(水) (10:00-18:00)

座長：石井輝秋(東京大学海洋研究所)

10:00 シンポジウム開催にあたって：石井輝秋(東京大学海洋研究所)

10:10 沖縄県久米島の海底鍾乳洞の探検調査：佐藤矩雄・安原謙二・久米島海底鍾乳洞探検調査研究会

10:40 日本の考古学：荒木伸介(跡見学園女子大学)

11:10 西九州の縄文水中遺跡と海水準：前田保夫(フィリピン大学地質科学部)・中田正夫・奥野淳一(九州大学)・長岡信治(長崎大学)・横山佑典(オーストラリア国立大学)・高野晋司(長崎県庁)

11:40 与那国島遺跡ポイントの発見ほか：新鷲喜八郎(入船エンタープライズ)

12:00 - 昼食 - (12:00-13:00)

座長：平城徳浩(スタジオ美峰)

13:00 沖縄考古学の研究状況：池田榮史(琉球大学法文学部)

13:30 南西諸島の海底遺跡様地形の景観：三上智恵(琉球朝日放送)

14:00 与那国でのクサビ穴の発見と海底遺跡様地形：平城徳浩(スタジオ美峰)

14:30 南西諸島の海底遺跡探査：木村政昭・琉球大学海底調査団

15:00 - コーヒーブレイク - (15:00-15:10)

座長：木村政昭（琉球大学理学部）

15:10 加速器質量分析法による¹⁴C年代測定と海底遺跡試料測定：中村俊夫・小田寛貴（名古屋大学年代測定研究資料センター）

15:40 ビミニと沖縄の海底遺跡ほか：J. マイヨール・成田均（シークロップ）

16:10 全体ディスカッション

17:00 -懇親会-（17:00-18:00）

第2日目

11月25日（木）（10:00-17:00）

座長：大内徹（神戸大学理学部）

10:00 日本海の古地理：多田隆治（東京大学大学院理学系研究科）

10:30 与那国島の地質-特にサンニヌ台周辺に注目して-：小竹信宏（千葉大学理学部）・奈良正和（愛媛大学理学部）・近藤康生（高知大学理学部）・船山展孝（高知大学理学部）

11:00 与那国島遺跡ポイントの概要：新藤健一（共同通信社）

11:30 琉球弧の地震活動と与那国海底遺跡に関するコメント：大内徹・原俊雄（神戸大学理学部）

12:00 -昼食-（12:00-13:00）

座長：古川雅英（放射線医学研究所）

13:00 湖底、海底の探査の実績とデータ：太田洋一（コウデンテクノインフォ）

13:30 与那国遺跡ポイントの形成過程等に関する考察：木村政昭（琉球大学理学部）

14:10 沖縄の海底遺跡の問題点：山田文比古（沖縄県庁）

14:40 沖縄海底遺跡に潜ってみて：橋本潤一（参議院）

15:00 -コーヒーブレイク-（15:00-15:10）

座長：木村政昭（琉球大学理学部）

15:10 沖縄海底遺跡と朝鮮半島の関係：崔茂雄（チェ・ム ウン）（建国大学校理科大学地理学科）・金善豊（中央大学民俗学科、文化観光部文化財委員、国際アジア民俗学会会長）

15:40 日本人およびポリネシア人のルーツ：片山一道（京都大学）

16:10 数万年後の海水準と大陸氷床：奈須紀幸（東京大学名誉教授）

16:40 全体ディスカッションとまとめ（16:40-17:00）